

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
オリジナル作品制作 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	下條慧			実務経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校サウンドクリエイターコースを卒業後、アーティストへの楽曲提供や映像音楽の制作など歌モノからインストまで多ジャンルに渡り制作を行ってきた経歴がある。											
授業概要											
楽曲の基本的な作曲法について学ぶ。 楽曲全体がどのように構成されているかを理解しコード、メロディ、各種アレンジについての考え方やアプローチの方法を学ぶ。 後半は各音楽ジャンルの基本的な作り方を専門の講師を招いた解説を行う。											
到達目標											
ベーシックな楽器編成で歌モノをワンコーラス作ることを目標とする。 楽曲の構成（イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ）をコード進行や楽器隊のアレンジで上手く表現出来るようになる。 自分で作成したリードシートを実際に音楽として形にすることで論理的な思考で曲を作れるようになる。 小さな目標を毎週クリアしていくことで問題を打破していく能力を身につける。 他の授業で分からなかった点やさらに発展した内容を補完できるとなお良い。											
授業方法											
この授業では、全体に向けた指導だけでなく生徒一人一人にヒアリングを行い、それぞれの生徒に合った指導を行う。個々の作業が中心となるので、楽曲の進捗や実力に合わせて指導の内容も変わるが、最終的には足並みが揃うように調整していく。 ほとんどの生徒が初めて本格的に曲を作るので、まずは曲作りに対しての苦手意識を持たないよう、より簡単などところからしっかりと基礎を固めていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業の中で自発的に質問や意見を言えるような環境を構築できることが大切であるので、生徒には積極的な授業参加を求めるものとする。基本的には自分一人で作業を進めていく授業体系故、同じところで長く留まることことがないように自ら打開策を見つめられるよう努めることを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する。										
第2回	楽曲の成り立ちについて										
第3回	コードについて										
第4回	コードとメロディの関連性について										
第5回	リズムの重要性について										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
オリジナル作品制作 1	
第6回	リズム（メロディ、コード）
第7回	リズム（ベース、、ドラム）
第8回	6， 7 回の組み合わせ
第9回	指定されたコードにメロディを付ける（実習）
第10回	指定されたコードにベースとドラムを付ける（実習）
第11回	8小節の分の 4 rhythm sectionを作成する
第12回	4 rhythm sectionの各楽器のボリュームの調整について
第13回	メロディの作り方 1
第14回	メロディの作り方 2
第15回	前期のまとめ